

2025年7月2日

非住宅ニーズの高まりに手応え 具体的な問合わせ増える

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は6月4～6日、東京ビッグサイトで開催さ

れた「非住宅木造建築フェア2025」に出展し、同社のCADの非住宅プレカット対応についてPRした。前年に比べて出展社数が増え、期間も2日間から3日間に増えるなどフェアの規模が拡大したことを背景に、同社ブースへの訪問者数は207社（前年比56・8%増）と前年に比べて5割以上増えた。同社は非住宅向けの



ネットイーグルの出展ブース。新規客は81社と前年に比べて6割近く増えた

プレカットCAD「XF15」と2×4工法向けの「XF24」連携シ

ステムのCLT／合板CAD、羽柄BIMインターフェイス、構造計算システムなどを保有する。構造設計から構造計算、積算、加工までデータ連携するのが特徴で、構造計算システム「NSC15」は面積の制限なく入力でき、BIMにも直接データ出力できる。訪問客のうち、既存顧客は126社（同55・5%増）、新規客は81社（同58・8%増）でいずれも前年に比べて5割以上増えた。

既存客は非住宅用の加工設備の導入を計画または検討している工場や、保有する加工機

で非住宅への参入を検討している工場が具体的に加工できる内容などを問い合わせるケースが多かった。一方、新規客はゼネコンや設計事務所が半数程度を占め、BIMの活用範囲など具体的な問い合わせが増えたという。松井良紀営業本部長は「回を重ねるごとに来場者がスキルアップしている印象があり、これまでの漠然と情報収集を目的に訪れる人が多かったが、今回はより具体的な問い合わせが増えた。既存客も住宅市場の縮小を受けて非住宅市場の開拓を真剣に考える工場が増えてきたと感じる。BIMやIFC（BIMの標準ファイルフォーマット）の用語も広く浸透してきた」と話す。